

変化の1年

第12期OB 中野 真衣

ご無沙汰しております。小野ゼミ12期中野真衣です。2年ぶりにエッセイに寄稿させていただく理由は、2019年（令和元年）、身の回りの環境が色々変わったので、そのご報告をさせていただきたいと思ったからです。

◆異動しました

早速ですが、まず1点目の変化は、社会人4年目となる2019年春に、初めての人事異動がありました。異動先は、勤務先の親会社（三菱商事）の海外拠点が行う経理業務をサポートする課です。異動前と同じ経理部内の異動ではありますが、営業グループの経理担当から全社サイドの経理担当へと異動したことで、仕事で求められることが「狭く深く」から「広く浅く」に変化し、また海外拠点をフォロー



異動先で仲良くいただいている先輩・後輩とハロウィンパーティー
（ピカチュウの着ぐるみに見覚えのある12期も多いのでは…）
（著者は右から2番目）

するため、時差を考慮しつつ業務も英語で（！）行うことになったので、当初はかなり戸惑いがありました…。今でもまだまだ不慣れなことが多いですが、上司や周囲の先輩・後輩に沢山教えていただき、毎日1歩ずつですが業務に慣れようと奮闘している今日この頃です。

◆結婚しました

そして2点目の変化は、大学3年生の春からお付き合いしていた韓国人の彼氏（通称ジェイさん）と、11月に入籍いたしました。結婚式は9月に日本で、10月に韓国で挙げましたが、今年は特に日韓関係が冷え込んでしまいましたので、無事に結婚式を挙げられるかどうか一抹の不安もありましたが、杞憂に終わりました。前日まで出ていた台風の予報は嘘だったかのような晴天の下、皆様に門出を祝っていただきま

した。会場のキャパシティや国際結婚ということを鑑み、ごく近い方のみでのややフランクな披露宴となりましたが、終始和やかな、私たちらしい式になったのではないかと思います。



友人代表のスピーチをしてくれた12期英里香とハグする著者

友人代表のスピーチは、12期の相方・英里香が快く引き受けてくれて、笑いと涙が溢れる素晴らしいスピーチをしてくれました。また、恐縮ながら、12期同期から心温まるビデオレターも頂きました。多忙を極める中、スピーチを引き受けてくれた英里香、ビデオ作りに協力・奮闘してくれた同期に、この場をお借りして、改めて感謝の気持ちを伝えたいです。本当にありがとう！

2019年は目まぐるしい変化の多い1年で、異動と結婚式の準備が重なり大変な時もありましたが、その分、いつも変わらず支えてくれる家族や友達の有難みに気付くことが出来た大切な1年になりました。

年末にバタバタと新居が決まり、2020年1月には引っ越し、2月には新婚旅行で米国フロリダ州のディズニーワールド(とっても楽しみ!)が控えています。2020年は新生活をしっかりと安定させることを目標に、心身ともに健やかに過ごしていきたいと思います。引き続きどうぞよろしくお願いたします。



日本の結婚式に参列してくれた小野ゼミ12期メンバーと



韓国の伝統衣装を着た前撮り写真(著者は左)